

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



作間芽那 ちゃん
(令和2年2月生まれ・女沼)
大好きな従姉の莉子お姉ちゃんと♡元気に育ってね
(父：順哉、母：美寿恵)



塚原渚 くん
(令和2年5月生まれ・尾崎)
生まれてきてくれてありがとう。健やかに育ってね。
(父：誠、母：真実)



世良田幸暉 くん
(令和2年6月生まれ・中央町)
ニコニコ笑顔に癒やされます。元気に大きく育ってね
(父：紀幸、母：春香)



長内七菜 ちゃん
(令和元年7月生まれ・東牛谷)
みんなに囲まれ、すくすく元気に成長中の末っ子です！
(父：達也、母：智恵美)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課TEL92-3111)へ申し込みください



わたしの夢

命をまもる獣医

猪瀬虎之介さん 古河第一小学校5年生

ぼくの夢は、獣医になることです。はじめは人の病気を治す医師に興味がありました。しかし、ぼくが産まれた時から一緒だった犬が死んでしまい、そこから動物に対する思いが強くなりました。

動物は人間と比べて、生きられる時間が短いのです。だから、その限られた時間を元気に生きられるよう、助けてあげたいと思ったのです。

そのために、今、たくさん勉強をしています。いつか、多くの動物の命を救い、信頼される獣医になりたいと思います。



上段：岡田和人さん、若旅俊樹さん、菊田悦史さん、舘野祐也さん
下段：相良一さん、長妻秀一さん

キラリ 古河ビト

国境を超えた災害救助を

茨城西南広域消防本部

国際消防救助隊の皆さん

海外で大規模災害が発生した際、現地に派遣される国際消防救助隊(IRT)。現在、茨城西南広域消防本部では6人の隊員が登録されています。いつ起こるか分からない災害に備え、日頃から熱心に訓練を行う隊員の皆さんにお話を伺いました。

茨城西南広域消防本部は、平成13年に国際消防救助隊(IRT)に県内で初めて登録しました。当時は8人体制でしたが、平成22年に水戸市消防本部が登録したことから、今では6人体制となっています。隊員の任期は1期2年の3期交代で、実践経験が豊富な35～39歳前後で構成されています。

隊員の任務は、海外で大規模災害が発生した際に、国際緊急援助隊(JDR)の救助チームの一員として、警察庁や海上保安庁とチームを組み、救助に当たることです。現地での行動を共にする人全員が初対面のため、信頼関係の構築や協調性がとても大切です。

災害現場では被災後72時間が人の命を左右します。移動時間を除くと、現地で活動できる時間は限られ、さらに、医療体制も不十分なため、1分1秒でも早い救助が求められます。

災害は、いつ起こるか分かりません。そのため、派遣当番の日には外出を控えて出勤に備え、現地では先を読んだ行動ができるよう、日頃から訓練や手技の確認を入念に行う隊員の皆さん。被災地に派遣された際には、何よりも人命を第一に考え、被災国の文化を尊重しながら国際協力の一助となるよう、今日も全力で訓練に励んでいます。



▲がれきを持ち上げ、その先にいる被災者を救助する訓練(クリッピング)の様子



▲ロープワークで建物の中にいる被災者を救助する訓練の様子



▲握手する2つの手が描かれたIRTのワッペン